

第3期旭市総合戦略（素案）に関するパブリックコメントの実施結果について

1 実施結果

募集期間	令和6年12月25日から令和7年1月17日
意見提出者数	6 人
意見数	24 件

2 基本目標別の意見の数

項 目	意見数
【基本目標1】 魅力ある雇用を創出し、安心して働けるまちづくり	3
【基本目標2】 結婚・出産・子育ての希望がかない、誰もが生きがいを持てるまちづくり	5
【基本目標3】 ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集いつながるまちづくり	6
【基本目標4】 将来にわたって元気な地域をつくり、安全・安心で暮らしやすいまちづくり	6
※総合戦略全体に関すること	4
合 計	24

第3期旭市総合戦略（素案）に関する意見と市の考え方

N0	基本目標	意見	市の考え方
1	1	・成田空港の活用 成田空港へのアクセス改善について、なにか予定はないのか。成田空港周辺に求人があっても、旭市内自宅からの通勤時間を考えるとdoor to door で1時間以上かかるので、子育て中の女性にとっては、毎日通勤するのは現実的ではない。	・成田空港については今後機能強化が予定されており、新たな雇用やインバウンド観光等が期待されています。成田空港のアクセス面につきましては、圏央道や銚子連絡道などの交通インフラの拡充効果を生かせるよう取り組みます。
2	1	・企業誘致等支援 ぜひ積極的に進めてほしい。企業誘致とは少し異なるが、市内に薬局が多すぎる。最近だとスターバックスや吉野家ができたと、嬉しかった。イオンタウン旭に空き店舗があるし、おひさまテラス内カフェ閉店後もなにもできないので、カフェやファーストフード店が入ると、人が集まるきっかけになり活性化につながる。	・地域の特性を生かした新規企業や魅力的な企業の誘致及び既存企業の支援を促進し、市内の活性化による地域経済の活力向上に結びつくよう、引き続き取り組んでいきます。また、入館が自由なおひさまテラス内に施設コンセプトに沿った後継の飲食施設があれば、来館者サービスの向上等が図られると考えており、施設を管理運営する指定管理者と事業者誘致に努めています。
3	1	・地域女性デジタル人材育成推進 具体的にどういう計画なのか。千葉県ジョブサポートセンターの在宅ワークセミナー（オンライン）に何度か参加したことがあるが、求人内容は1件あたりの報酬が数十円～数百円のものが多く、時給に換算すると最低賃金よりかなり低い。とてもまとまった月收入が得られるとは思えなかった。また、仕事内容も簡単なもの、レベルが低いもの（パソコン初心者でも大丈夫です、と謳っているようなものまであった）が多く、やりがいや責任を持てるようなものはないように感じた。旭市で在宅ワークの推進する場合、市内の優良企業や市役所などの公務で在宅ワーク（例えば、週5のうち2～3日程度コアタイムのみ出社する。残りは完全在宅）、まとまった月收入が得られるのであれば、魅力を感じる。パソコンスキルや語学などの資格があってもこのあたりにはそれを生かせる職種での求人がないので、デジタル人材を育成したところで、どう生かせるのか。女性求職者の意見を聞き、求められるものに沿った事業としてほしい。	・地域女性デジタル人材育成推進は、自営型テレワーカーの育成を行い、さまざまな事業者からテレワークの仕事を得られるデジタル人材の育成を目指して、最終的には仕事の紹介などの仕組みを確立して就業まで支援する事業です。なお、あわせて事業者のデジタル化支援により、市内事業者のデジタル化への関心を高めデジタル技術の導入を推進することで、将来的には市内事業者のデジタル人材の雇用につなげたいと考えます。
4	2	・出会いの場創出 婚活イベントの内容、とても魅力的だが、外部講師を呼ぶなどして経費をかける必要はあるのか。都内の婚活イベントなど参加したことがあるが、もっと単純な内容で事足りると思う。またホームページに掲載されている成婚者数が、当該イベントきっかけ以外の人数を含んでしまっているので、単純に当該イベントきっかけのみでの成婚者数を公表すべきではないか。	・婚活イベントの内容は、旭市後継者対策協議会で協議し決定していますので、ご意見については今後の参考とさせていただきます。また、ホームページの掲載方法については、今後検討していきます。
5	2	・育児環境の不備。中央病院周辺の運動場、体育館、公園、児童館、温水プールが有用。	・現在、ご意見にある施設の新たな計画はありません。既存施設の機能充実などとあわせ、今後の参考とします。
6	2	・内容に恵まれた高校がない、遠いため、設立、通学助成が有用。	・高校の設立は、千葉県において県立高校の再編を検討していますが、難しいものと考えます。なお、通学助成は、国や県において授業料をはじめ経済的負担の軽減を図っていますので、今後も動向を注視していきます。

N0	基本目標	意見	市の考え方
7	2	・学習機会の地方格差。県立東部図書館統合の話がありますが、維持を強く希望。最低でも取り寄せ制度は確保してください。県立博物館の大利根分館が有用なのに閉鎖されました。東金こども科学館が小さいながらすばらしく同様の施設が必要です。	・千葉県では、令和11年度に新県立図書館を開館する計画が進められ、東部図書館施設の市への移譲について協議が進められています。ご意見は、今後の市図書館の在り方や役割の参考とさせていただきます。なお、他館からの本の取り寄せサービスは、今後も継続する予定です。
8	2	・図書館の在り方を再検討してほしい（児童向けの図書館新設を検討してほしい）。旭市図書館と東部図書館が最近合併されましたが、2つの図書館は利用者の年齢層が異なります。学術研究の機能を持つ東部図書館で、幼い子どもたちと保護者が同じ空間に居ることを想定するのは無理があると思います。研究のために来館する利用者と、親子連れの利用者が互いに利用を控えることにつながります。保護者は、他の利用者を気づかって、子どもが静かに過ごすように、子どもの行動を抑制しなければならないです。静かさを求められる図書館で、保護者が子どもの面倒を見ることに疲れを感じて、図書館から足が遠のくようになれば、意味がありません。 今後、様々な利用者が館内で共存するとしても、研究目的と児童層が互いに利用しやすい図書館となるように、子どもや保護者が声を出しても大丈夫な空間をつくる必要があります。（一階に交流ラウンジもありますが、館内の2階・3階を利用できるようにするなど）	・現在、市図書館は、東部図書館の施設の一部を借用して運営を行っているため、機能や役割の違いから生じる様々な問題は、図書館運営上の課題として認識しています。今後の在り方については、利用者の目的や意見を参考にしながら検討していきます。
9	3	・生涯活躍のまちみらいあさひ・ローカルチャレンジャー育成プログラム推進 開催回数5回程度に対して、参加費用が1万円近い金額で、とても気軽に参加できるものではないと感じた。また、主催者側に費用の使い道を尋ねても明確な回答がなかった。明確な回答ができないような事業なのか。	・ローカルチャレンジャー育成プログラムは、趣味や特技を生かした地域貢献や小商い等の将来設計を考える連続講座で、地域で活躍している方を講師に招きながら実施しています。施設を運営する指定管理者からは、参加費は講師謝礼等、講座実施に係る費用に使用していると伺っています。
10	3	・公共交通利用促進 妊婦向けや産後の両親学級などでデマンド交通を使えるようにしてほしい。結婚や出産を機に旭市に移住して、車の運転ができなくて、こういった教室や子どもの予防接種に行く交通手段を確保するのに苦労した。 本件とは異なるかもしれないが、イオンタウン旭交差点近くに高速バスの乗り場があるが、イオンタウン旭駐車場内へ移動できないのか。高齢者マークの車が多く通る交差点であることから、危ない場面を見かけたことが何度もある。また、バス停におしゃれなドラム缶ベンチはあっても、雨風をしのぐ屋根がないため、猛暑や雨天のときは、バスを待つのが大変。工夫していただきたい。	・デマンドタクシーについては、移動手段としてご利用いただけます。また、イオンタウンへの高速バス停留所移設につきましては、バス車両が大型車である為、進入が出来ない状態です。バス停留所の待合環境については、状況を踏まえながら検討していきます。
11	3	・特急、バスの減便。増発が有用。	・JRに対し減便とならないよう自治体間で連携して毎年要望を行っています。また、市のコミュニティバスや民間の路線バスは、利用状況や運転手の働き方改革等により一部減便に至りました。市としましては利用が増えないと増便につなげることは難しいので、本総合戦略の重点プロジェクトとして記載し地域公共交通の利用促進を図ります。
12	3	・文化の杜公園に、ロッカーを設置してほしい。自動車で来る方は荷物を車内に置けますが、自転車や徒歩で来る人も多いと思います。荷物を気にせず安心して運動できるよう、ロッカーの設置を希望します。	・本総合戦略の基本施策18に記載し、魅力的で行きたくなる公園づくりを課題として捉えています。現在、文化の杜公園へのロッカーの設置予定はありませんが、運動利用に適している旭スポーツの森公園内の総合体育館ではロッカーの利用ができます。

N0	基本目標	意見	市の考え方
13	3	・開かれた市政 地域意見交換会について、各区長が参加者を募集しているこのことだが、昨年開催された報告を見ると、「〇〇道路の雑草がすごい」などとても建設的と言える意見ばかりではなく、驚いた。写真を見ると参加者はご年配の方が多く見受けた。参加者について区長任せではなく、幅広い世代に参加を呼び掛けてほしい。市長と子育て世代の対話会のようなものを開催してほしい。	・地域意見交換会については、平成17年度からスタートし、参加状況などを踏まえ周知方法や会場などの見直しを行ってきたところです。ご指摘のように、幅広い世代の声を把握することは大切であると考えており、本戦略の策定にあたっては、市民アンケートや、高校生、子育て世代、シニア世代との意見交換会を実施したところです。また、令和4年度から「市民と市長との対話集会」と題し、若者や女性、移住者などとの意見交換会を行っています。今後も、幅広い世代の方と市長が直接対話する機会を設けていきます。
14	3	・旭市公式LINE登録者数（ブロック者除く） 自然災害など警報が出たなどの配信が、鉾子市と比べて遅いので、改善いただきたい。また、猛犬が逃走した時の注意喚起や、昨年末に起きた強盗事件など、公式ラインでの情報配信が遅すぎる。	・防災・防犯など、市民の安全に関わり緊急を要する情報については、防災行政無線と合わせて、速やかに公式LINEでも情報配信するよう改善していきます。
15	4	・健康。子供のコロナワクチン接種できるところがない。定期接種全体を確認して助成・通知を充実してほしい。男子のHPVワクチン助成も必要。	・子どもの定期予防接種は対象となる方全員に個別通知を行っており、県内医療機関で公費（無料）で予防接種を受けることができます。また、男子のHPVワクチン接種等への助成ですが、接種は任意接種であり、今後の国の動向や近隣市の状況等を注視していきます。
16	4	・デジタル防災アプリ（防災マップ）登録者数 アプリをインストールしているが、台風など災害時に通知がきたりするわけでもなく、特に意味がない。	・スマートフォン用アプリ「旭市防災マップ」は防災マップや災害時の心得などの情報をオフラインを含めいつでも閲覧できるアプリです。通知機能は搭載されていないため、別途、市公式LINEや防災あさひメールを登録・活用してください。
17	4	・交通安全。道路幅拡張、見通し改善、危険運転の取り締まり。	・危険運転防止のため、警察等関係機関と連携の下、広報啓発活動を推進するとともに、引き続き安全に配慮した道路整備を進めていきます。
18	4	・市内の道路に電灯を増やしてほしい。夜間、道路の暗さに通行の危険を感じます。特に、旧市役所横の天神踏切がある道路近辺や、東部図書館の駐車場です。	・夜間における犯罪や交通事故の発生を防止する必要性が高い箇所には、地区からの要望に基づいて防犯灯を設置しています。引き続き制度周知に努めるとともに、ご意見の旧市役所横の天神踏切については、今後の整備計画の参考とさせていただきます。なお、東部図書館の駐車場については、利用者の意見を踏まえ今後検討していきます。
19	4	・治安対策。通学路の不審者（罵倒、撮影、宗教勧誘が実際にあり、子供だけで外出が危険だと、大人の早退など勤務が不自由になります。）	・市では小中学校の下校時間に合わせて青色パトロール車によるパトロールと朝の通学路見守りを定期的に行っています。また、不審者情報はホームページに掲載しており、併せてメール配信も行っています。

N0	基本目標	意見	市の考え方
20	4	・今般、「闇バイト」による新たな脅威に曝され、2024年末には強盗や空き巣の被害が旭市内で多発したところ、防犯対策や犯罪抑止を旭市の重点課題として位置付け、これに係る施策を早急に実行して頂きたい。具体例については、施策28の他、以下のとおり。 ・「旭市防犯まちづくり基本計画」（仮称）の策定 ・住宅用の防犯設備（防犯カメラ、センサーライト、建物部品等）に係る助成・補助 ・自動通話録音機の提供・貸出（不審電話対策） ・市内の犯罪発生マップの公開等	・本総合戦略の基本施策の28に課題として記載し、市としても深刻な社会問題として捉えていますので、防犯カメラ及び防犯灯の増設を毎年実施しているところです。また、（仮称）旭市防犯まちづくり基本計画や住宅用の防犯設備の助成等は近隣自治体の状況等を注視するとともに、犯罪発生マップの公表については、警察と協議していきます。
21	全	・冒頭の全体概要が10年前の第1期からほとんど変わっていないため、旭市が15年間停滞している印象を受ける。 - 能登半島地震があり、市長が変わり、進化が止まらないAI、世界的なGXへ投資の流れなど、世界がこんなに動いているのに。旭市は眠ったままなのか？ - いすみ市の有機米による給食、匠瑤市の脱炭素先行地域の選定から市役所にゼロカーボン推進課の設置、昨日は新聞に多古町が住みたい田舎2位になったという記事。ワクワクする興味を引く話題が事欠かないのに、旭市の戦略には変化が無い。ワクワクする要素がない。これは旭市に投資しよう、起業しよう、移住しようという人達にどう映るのか？現状が少し近隣より良いからといって努力を怠れば、輝きは失われると思う。	・総合戦略は、人口減少への歯止めと、地域経済の活性化を図り、持続可能なまちを目指し取り組んでいくための計画です。策定にあたっては、市民等で構成される総合戦略推進委員会をはじめ、市民アンケートなどに加え、新たに事業所アンケートや、高校生、子育て世代等との意見交換会を実施するなど、様々な方から意見をいただきながら進めてきました。ご意見のとおり本市が魅力的なまちと感じてもらえることは重要ですので、引き続き他自治体の取り組みを調査研究するとともに、持続可能なまちづくりを目指し、本市の有力な地域資源を最大限に生かし、強力に発信することに努めていきます。
22	全	・数多くの他市と比較して旭市の特色を拾い出してみた。デジタル技術を活用してまちづくりが随所に見られる。 （人口減少・少子高齢化への対応） ・少子化に歯止めをかけるため、デジタル技術を活用した効率的な行政運営と連携・協働を強化。 （まちづくりの方向性） ・SDGsの理念に基づき、カーボンニュートラルや気候変動対策も含めたデジタル技術活用型のまちづくりを推進。 （連携の強化） ・市民、企業、団体など多様な関係者との連携・協働を重視し、デジタル田園都市国家構想との連携を図る。 （重点施策） ・DX（デジタルトランスフォーメーション）や気候変動対策、ストップ少子化大作戦を重点プロジェクトとして推進。 （技術活用） ・デジタル技術を分野横断的に活用し、地域課題の解決を目指す。DX推進計画を策定中。 （独自性） ・SDGsやカーボンニュートラル、国のデジタル戦略と連携した先進的な取り組みを導入。	・本市の新たな総合戦略では、デジタル技術を積極的に活用し、少子化に歯止めをかけるとともに、大好きなまち旭の魅力を一層高めながら、生涯にわたり健やかで幸せな暮らしの実現を目指しています。また、戦略の推進にあたってはSDGsの理念に沿うとともに、特に深刻化する気候変動への対策は喫緊の課題であり、カーボンニュートラルなどの視点も重視していきます。

N0	基本目標	意見	市の考え方
23	全	・将来都市像 「ウェルビーイング」という言葉になじみがない。老年人口が3割、今後4割になることが見込まれる中、わかりにくいカタカナ英語ではなく、意味がわかりやすい日本語にしたほうがいいのではないか。	・将来都市像につきましては、本市に住むことによって皆が心身ともに健康で心豊かな暮らしができるまちづくりを目指していくために掲げており、カタカナ英語表記については、一般的に浸透しているかどうか検討し、注釈なども使用し丁寧な記載としています。
24	全	・「旭市総合戦略」の全体概要について、目指すべき「将来都市像」と市をあげて目指す「将来人口のチャレンジ目標」、都市像を上位とすべきと考えるが、いかがか。 基本目標について、思い切って旭市の独自性を出すために「基本目標」を「重点目標」にしたらどうでしょうか。重点目標を受けての重点プロジェクトとなるため。また、そのプロジェクトを遂行するための「基本施策・基本目標」となるから。	・将来都市像は、令和11年度における本市が目指すべき姿であり、人口ビジョンにおける目標人口を踏まえた市の将来像となります。また、基本目標については、ご指摘のように重要な目標ではありますが、重点プロジェクトや基本施策において取り組むべき事業の中心となる基本の目標と考えています。